

平成28年度広島グッドチャレンジ賞表彰式の開催結果について（報告）

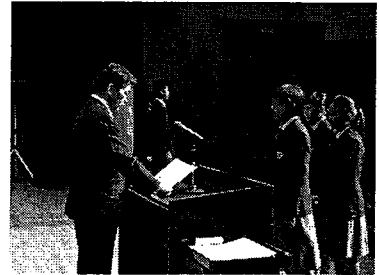
～社会貢献活動に積極的に取り組んだ生徒、グループ、生徒会を表彰～

1 趣 旨 社会貢献の心をはぐくむボランティア活動等への生徒の積極的な参加を促し、活動への意欲を喚起するため、善いことを自ら進んで実践した生徒個人、グループ、生徒会を表彰する。

2 日 時 平成29年1月10日（火） 15時30分～16時45分

3 場 所 JMSアステールプラザ 中ホール

4 内 容 ① 表彰状授与
② 教育長あいさつ
③ 受賞者代表の言葉



広島グッドチャレンジ賞表彰式

5 対 象 広島市立中学校、広島中等教育学校及び広島特別支援学校中学部の生徒個人、グループ及び生徒会

6 受賞者等の推移

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
個人部門	6	17	6	14	19	15	14	25	29	29	21
グループ部門	4	4	1	22	27	33	44	62	85	107	104
生徒会部門	17	10	6	18	19	22	31	34	39	50	51
総 数	27	31	13	54	65	70	89	121	153	186	176
学校数	21	15	10	28	30	31	39	49	51	64	64

※ 名称：平成18年度～「さわやかボランティア賞」・平成23年度～「広島グッドチャレンジ賞」

7 活動例



「小学校でのあいさつ運動」



「校内のボランティア清掃」



「熊本地震復興義援金募金活動」

- 【個人の部】
- ・中学校区の小学生と一緒にあいさつ運動を行った。
 - ・校内ボランティアに43回参加し、美化活動を積極的に行った。
 - ・地域のボランティア活動に積極的に参加し、美化活動を行った。
- 【グループの部】
- ・地域での美化活動やあいさつ運動を主体的に行い、他の生徒の模範となった。
 - ・地域の諸行事に参加し、演奏活動を行い地域住民から好評を得た。
 - ・部活動で、毎朝、校門周辺の清掃活動を行った。
- 【生徒会の部】
- ・熊本地震復興義援金募金活動を行った。
 - ・校内ボランティアや各種募金活動の企画・運営を行った。
 - ・アルミ缶やボトルキャップを回収し、各種団体にワクチンや車椅子を寄贈した。

個人の部

私は、2年前、江波中学校生徒会執行部として、地域の小学生とパン作りをするというボランティア活動に参加した時、小学生の「ありがとう」の言葉を聞き、もっといろいろなボランティアに参加したいと思うようになりました。執行部の仲間と地域の行事に参加し、たくさんのボランティア活動を行うことを通して、地域の方々との交流を深め、多くのものを得ることができました。

以前までの私は、ボランティアとは、相手のためにすることだと思っていましたが、地域の方々から感謝の言葉をいただき、相手だけではなく、自分も幸せにするものだ気づくことができました。

私たちが地域や学校で頑張る姿をみて、「自分もやってみよう」とボランティアに参加する人が増え、ボランティア精神が学校に広がっていることを実感できました。「みんなで作る学校」、私は、生徒会長としてこのスローガンのもとに取り組んできたことが、みんなの心を動かし、学校を変えていったことを誇りに思います。

これからも、私は、貴重な経験ができ、多くのものを得ることができるボランティア活動を続けていきたいと考えています。

広島市立江波中学校 久松 将太

グループの部

「今日、あいさつ運動行く?」「スタンプ押ししてもらおうか!」「ねえ、8月の集会所である子育てボランティア行かん?」「ええよ!赤ちゃんかわいいもんね。」牛田中でこんな会話がされています。実際、私の生活の中でボランティアは気軽に参加できるものです。

牛田中は、地域から年間40以上のボランティアの募集があり、多くの生徒が校外でもボランティアを行っています。これらのボランティアはボランティアカードに記録され、10回以上ボランティアを行った人が「牛田中グッドチャレンジャー」として全校朝会で表彰されます。昨年度から始め、今年は12月までで昨年度を大きく超えて、78名が表彰されました。

私は、このボランティアカードは、ただ自分の記録を積み重ねるだけのものではなく、「スタンプ押ししてもらおうや!」と気軽に仲間を誘ったり、「スタンプ押ししてください!」と地域の方と何気ない交流をしたりして、ボランティアを「誰でも気軽に参加できるもの」にしていると思います。

この気軽に参加できるものが、自分や仲間、地域の方々の笑顔につながり、お互いが支え合える関係になると信じています。だから、私は明日からも仲間を誘って笑顔でボランティアに参加します。

広島市立牛田中学校 牛田中グッドチャレンジャー 栗原 菜々子

生徒会の部

戸山小中学校では、ご意見ボックスというものを設置しており、今年度の5月に「熊本地震義援金募金活動をしたい」という意見が、その中に入っていました。僕たちは、これまで防災教育などを通して、自然災害の恐ろしさに触れる機会がたびたびあったので、生徒会執行部としてこれに取り組むことにしました。最初は、時期がずれてしまったこともあり、「なぜやるのか」と問われたこともありましたが、僕たち執行部は、生徒の手でできることを探そうと考え、熊本地震の被害状況を調べて資料を作成し、全校児童生徒に呼びかけて、9月に募金活動を行いました。この呼びかけは、最終的に来校された保護者や地域の方々にも広がりました。募金の金額はわずかでしたが、地域の方々も含めて災害に対する意識の高さを知ることができたという面では、非常によい活動だったと思います。

この活動を通して、一つの小さな意見でも、皆で協力できれば大きくなって実現すること、もし自然災害に遭ったらたくさんの人と協力すること、日頃から声の掛け合いをすることが大切だということになりました。これで終わりではなく、僕たち生徒会執行部として、災害への意識向上や、地域との関わりを深めるための第一歩にしていきたいと思います。さらに、これからは、僕たち生徒一人ひとりが地域の防災リーダーとして、いざという時に行動を起こせるようにしていきたいです。

広島市立戸山中学校生徒会執行部 若村 晴紀